

BASIC GOAL

03



基本目標 3

全世代が活躍できる地域社会と 魅力あるまちづくり

A vibrant local community where people of all generations can thrive,
and the creation of an attractive town.



現 状	課 題
健康と生きがいづくり ● 高齢者の増加に伴い、認知症の人も増えています。誰もが希望を持って暮らせるよう、認知症への理解促進と社会参加の機会が必要です。	● 認知症に関する普及啓発はまだ十分ではなく、認知症の方を含む高齢者が個性や特性を活かした活動につながっていない状況です。
介護予防の強化 ● 地域の集いの場や介護予防サポーター養成講座により、介護予防やフレイル予防への意識向上を図っています。	● 高齢者の健康増進やフレイル予防の取組が十分浸透していない状況です。
在宅生活支援の充実 ● 高齢者福祉分野は課題が広範であり、行政単独ではなく地域団体や企業との協働がますます重要となっています。	● 介護者の負担が重く、負担軽減のための分野横断的な連携強化が必要です。
見守り体制の拡充 ● 見守り台帳を整備し、独居や高齢者世帯への見守りや安全確認を強化しています。	● 独居高齢者の増加により、見守りが必要な人が多くなっています。また、民生委員等に相談する人も増えています。



今後の取組	指 標	
● 認知症サポーター養成講座や認知症カフェなどを通じて、認知症の人を含む高齢者の社会参加や就労を支援します。	認知症サポーターに関する 「キャラバンメイト協議会」開催数（回）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	2	2
● 地域の集いの場や介護予防サポーター養成を通じて介護予防を推進します。	通所型サービス B 開催箇所数（箇所）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	5	6
● 行政だけでなく、地域団体や企業、住民と協働し、多様なニーズに対応できる福祉体制を築きます。	第2層介護予防生活支援体制 整備事業委託数（件）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	6	7
● 民生委員児童委員へ見守り台帳への登録の説明を行い、台帳登録の更新を行います。	民生委員児童委員への見守り台帳 登録の説明数（回）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	1	1

5年後に目指す姿

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護予防や認知症施策を推進し、医療・介護・地域の連携を強化します。誰もが支え合い、生きがいを持ちながら自立した生活を送れる福祉のまちを実現します。

障がい者福祉

全世代が活躍できる地域社会と魅力あるまちづくり

現 状	課 題
相談・支援体制の充実 ● 障がいのある方の状況に応じたサービス支給が行われるよう、相談支援事業所と連携し、対象者の把握と支援体制の整備に努めています。	● 市内に計画相談支援事業所が2か所のみで、利用者の多様なニーズ把握が難しい状況です。
就労支援の推進 ● 就労支援部会を設けて課題の検討や情報共有を行い、就労機会の拡充を進めています。	● 就労継続支援事業を利用しても、一般就労に移行する人数が限られている状況です。
生活支援と環境整備 ● 福祉サービスで、障がいのある人一人ひとりの状況に合わせて、日常生活や社会生活を送る上で必要な人的なサポートを提供しています。	● 支援が必要な方のなかには、自らSOSを出せない人も少なくありません。
療育と教育の拠点整備 ● 障がい児相談支援の中心的役割を担う児童発達支援センターの設置に向けた検討が進められています。	● 年齢に応じた適切な支援が十分であるとは言えず、障がい児の早期支援体制の強化が必要です。



今後の取組	指 標	
● 障がいのある方や家族の相談に対応し、サービス利用を支援する体制を強化します。	相談対応件数（件）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	325	335
● 就労継続支援A・B型や就労移行支援事業を活用し、一般就労者数を増加させます。また、就労先や働き方について、本人がより良い選択が出来るよう就労選択支援を活用していきます。	一般就労者数（人）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	3	7
● 支援が必要な人に情報が届くよう、分かりやすい情報の提供に努めます。	障がい者相談支援事業相談件数（件）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	2,945	3,000
● 児童発達支援センターを設置し、障がい児の療育・教育支援に向けて関係機関との連携に努めます。	児童発達支援センター設置数（箇所）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	0	1

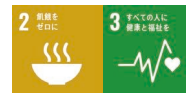
5年後に目指す姿

障がいのある人が社会の対等な構成員として、人権を尊重され、自己選択と自己決定のもとにあらゆる社会活動に参加・参画し、社会の一員として責任を分かちあう「完全参加と平等」の社会を目指します。

健康・医療体制の強化

全世代が活躍できる地域社会と魅力あるまちづくり

現 状	課 題
心の健康支援の充実 ● 自殺防止に向けた自殺対策講演会の開催や、予防週間・対策強化月間を中心に、市民への周知活動を行っています。	● 声掛けや顔合わせを通して地域で支える人材を育成し、体制を構築することが求められています。
生活習慣病の早期発見や重症化予防 ● 特定健診やがん検診等を実施し、生活習慣病の早期発見や健康意識の啓発を図っています。また、保健指導により生活習慣病の重症化を予防し、脳卒中や心筋梗塞などの合併症発症の抑制に向けた支援を行っています。	● 国の目標値に比べてがん検診の受診率が低く、早期発見・治療につながりにくい状況です。また、職場での健診におけるがん検診の実施状況を把握することが課題となっています。
歯と口腔の健康づくり ● 妊婦歯科健診の受診率は約3割で、このうち半数以上が要治療と診断されています。むし歯のある小学生の割合は減少傾向ですが、年齢が上がるにつれ、むし歯のある児童が相対的に増える状況です。歯周病検診は令和7年度から対象年齢を拡大して実施しています。	● 歯周病は生活習慣病や認知症との関連があるため、早期発見と早期治療に向けて受診率の向上が課題ですが、かかりつけ医がいることで歯周病検診の必要性を感じにくく、受診率が低い状況です。歯周病の早期発見に向け、意識啓発と広域で受診可能な環境整備が求められます。
地域医療と救急医療の確保 ● 休日の在宅当番医制や久留米広域連携中枢都市圏における二次救急医療体制により市民の安全安心な医療環境の確保に取り組んでいます。また、予防接種法で定められた定期予防接種のほか、任意予防接種に対しても接種費用の助成を行い、感染症の予防や拡大防止を図っています。	● 地域医療を支える医療現場の人手不足が深刻で、現在の体制を維持、継続していくことが課題となっています。新型コロナや带状疱疹ワクチンの自己負担額が1回あたり高額なため、高齢者を中心に接種を控える傾向があり、費用助成の拡充が課題となっています。
食育の推進 ● 母親学級や離乳食教室、乳幼児健診を通じて妊婦や乳幼児への栄養指導を行い、園児には農業体験や調理体験を実施しています。さらに、成人や親子を対象とした料理教室も開催しています。	● 妊婦や乳幼児、園児を中心とした取組や、成人や親子を対象とした取組も行われていますが、健康的な食習慣づくりへの広がりが十分とはいえません。



今後の取組	指標	
● 自殺のサインに気づき対応できる人を増やすことを目的にゲートキーパー研修を開催します。	令和8年度以降の累計ゲートキーパー研修回数(回)	
	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
	0	5
● 受診機会の拡充を図り、検診を受けることの意義について、分かりやすく丁寧に伝える情報発信に取り組みます。また、精密検査未受診者への受診勧奨に力を入れ、早期治療につながるよう支援を行います。	がん検診受診率 (①胃・②肺・③大腸・④乳・⑤子宮頸がん)(%)	
	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
	①11.3 ②11.7 ③10.1 ④25.0 ⑤23.4	①15.0 ②15.0 ③13.0 ④30.0 ⑤28.0
● 口腔衛生の重要性の周知と口腔内の健康増進を図るため、歯周病検診の受診を促進するよう、動機付けにつながる取組を進めていきます。	歯周病検診の受診率(%)	
	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
	12.1	20.0
● 浮羽医師会による休日の在宅当番医制、久留米医療圏の二次救急医療体制や小児救急医療体制を維持継続しつつ、市民に分かりやすい医療情報の提供に取り組みます。また、市民への救急医療の普及啓発を図るため、市内事業所等を対象とした救急救命講習会を引き続き継続して行っていきます。	在宅当番医(休日急患診療)実施率の維持 (実施日数/日曜、祝日数)(%)	
	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
	100.0	100.0
● 園児向け体験事業や食育活動を充実させ、将来を見据えた健全な食生活を普及します。	園児を対象に食育体験を実施する 保育所・園の割合(%)	
	令和6年度(実績値)	令和12年度(目標値)
	100.0	100.0

5年後に目指す姿

こどもから高齢者まで安心して医療を受けられる体制を整えます。がんや歯周病の早期発見と予防、妊婦健診や食育の推進を通じて市民の健康を守ります。心の健康や感染症予防、救急医療体制の充実を図り、誰もが健やかに暮らせる地域を実現してまいります。

3-4

BASIC GOAL 3

地域福祉の推進

全世代が活躍できる地域社会と魅力あるまちづくり

現 状	課 題
世代をつなぐ交流の拡大 ● 子育て世帯や若者も参加できる地域活動が広がり、世代を超えた交流と支え合いの基盤が築かれています。	● 多世代が参加する地域活動が限定的であり、世代間の交流促進が十分とは言えません。
地域活動と交流促進 ● 自治協議会や社会福祉協議会を中心に、サロン活動や見守り活動など地域交流の取組が行われています。	● 地域活動を支える住民やボランティアの担い手が減少し、活動の継続性が脅かされています。
地域包括ケアの充実 ● 高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、医療・介護・生活支援の連携が進められています。	● 独居や高齢世帯が増加し、生活支援や見守り体制のさらなる充実が必要です。
福祉人材の確保と定着 ● 介護サービスの担い手が不足することが見込まれています。	● 現在、市内の訪問介護事業所は複数あるものの、在宅者だけを対象としている市内訪問介護事業所は1か所のみとなっています。



今後の取組	指 標	
● こどもから高齢者まで、多世代が交流できる地域活動や居場所づくりを推進します。	コミュニティカフェ等 多世代交流事業実施数（回）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	12	15
● ボランティアや地域リーダーの育成を図り、持続的な地域活動の基盤を確立します。	サロン・見守り活動団体数（団体）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	61	65
● 地域包括ケアを強化し、医療・介護・福祉が連携した支援体制を整備します。	地域包括ケア会議開催数（回）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	2	2
● 継続的な訪問介護等の介護サービスが提供できるよう人材確保を支援していきます。	在宅者を訪問する市内 訪問介護事業所数の維持（事業所）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	1	1

5年後に目指す姿

誰もが地域で安心して暮らし続けられるよう、支え合いとつながりを大切にした地域福祉を推進します。高齢者や障がい者、こどもから若者まで、多様な人々が地域活動に参加し、生きがいを持ちながら共に暮らす社会を実現します。